



学校だより第10号

令和8年1月30日

新宿区立戸塚第三小学校



ながれ

100th Anniversary

克己心

副校長

2月3日には節分を迎えます。節分とは、「鬼を追い払って新年を迎える、立春の前日の行事」のことです。古来より鬼は、災害や病、飢饉など恐ろしい出来事を引き起こすと考えられてきました。そうした鬼が近づいてこないように、豆を投げつけるという風習が始まりました。なぜ豆なのかというと、「魔物の目をめがけて豆を投げれば、魔を滅ぼすことができる」ということから「魔目(まめ)＝豆(まめ)」となったと考えられています(諸説あります)。現代だったら、全集中の呼吸によって追い払っていますね。他の国や地域によっては、恐ろしい災いなどを引き起こすのが鬼ではなく、別の魔物や生き物と考えられている所もあります。いずれにしても、そうした魔物を近づけないことが、平和な生活につながると考えられているようです。

では、こうした鬼や魔物はどこに潜んでいるのでしょうか。海、山、湖、町、いろいろな所に潜んでいるかもしれません。しかし、私は人間一人一人の心の中にも潜んでいると思います。皆さんは、「嫌だな」「やりたくないな」と思うことから「やめよう」「逃げよう」と思ったことはないでしょうか。そうした気持ちは、自分の心の中に潜む魔物に心が負けそうになった時に出てくるものだと思います。私も子供のころは何度も魔物に負けそうになったり、物事を投げ出したり、ごまかしたりした経験があります。そんな時、私はある一つの言葉に出会いました。それは「克己心(こっしん)」という言葉です。「克」という字には「打ち勝つ」「良くする」などの意味があり、「己」は自分のこと。つまり、克己心とは、自分に打ち勝つ心のことを言います。

大人も子供も、毎日の生活の中で、きっと魔物が心を襲ってくる場面はあると思います。そして、その魔物に負けずにいることだと思います。しかし、時には心がくじけそうになることもあると思います。そうした時にこの「克己心」という言葉を思い出していただけたら、魔物にうち克ち、少しずつ成長することができる、さらに夢に近づくことができるのではないかと思います。

給食室から

学校栄養士

戸三小では、多様な食材や学校行事に合わせた献立、行事食、国内外の郷土料理を取り入れています。昨年は100周年に合わせ、11学級と教職員の「お祝いリクエスト献立」を12回実施しました。記念集会当日には、100の文字で飾ったちらし寿司、戸三小人気メニュー1位の唐揚げ、紅白色に仕上げたゼリーを提供しました。残菜は少なく、子供も大人も美味しく食べていました。2月にも、節分献立や宮城県の料理、スウェーデンの料理が登場します。毎日の給食献立は写真と共に戸三小ホームページに掲載しておりますのでぜひご覧ください。

学校給食は栄養補給だけでなく、食文化やマナー、社会性を学ぶものとして位置付けられています。そして何より、楽しい食事の時間は心も元気にしてくれます。これからも、子供たちにとって美味しく楽しい給食時間になるよう、6名の調理員と力を合わせてまいります。

読書の取組

図書主任

読書は、知識を増やしたり、新しい価値観に触れたりすることができ、自身の世界を広げることにつながります。一人でじっくり本を読むことも大切ですが、朝読書の時間を通して習慣とすることに全校で取り組んでいます。6月と11月に読書週間を行いました。朝読書に加え、委員会児童による出張読み聞かせや、異学年でのペア読書等を行い、読書の楽しさに触れることができるよう取り組みました。また図書室には、開校100周年を記念して、戸三小にゆかりのある作家さんの本や、地域に関する書籍の展示を行いました。地域に対する理解や愛着が深まることを願っています。

本校では今後も児童が豊かに読書に親しめるよう取り組んでいきます。ご家庭でも、ゆっくりと読書する時間をぜひ楽しんでみてください。